

アフガニスタン・イスラム共和国 農業灌漑牧畜省に対するチェンジマネジメント支援準備調査

国名	アフガニスタン・イスラム共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 農村開発部
事業分野	農村開発
実施期間	2010年10月から約5.4ヶ月間

事業の背景

アフガニスタンでは、全人口の8割が農村に居住しており、農業農村セクターはGDPの53%を占める最重要セクターであり、2008年5月に策定された国家開発戦略においても経済開発を進めるための重要な柱の一つとして位置づけられています。国の復興のためには早急なインフラの復旧はもちろんのこと、ケシ栽培に代わる生計手段の開発や地方行政の能力向上等多岐にわたる課題を抱えています。このような状況のもと、農民及び農業生産物の加工や流通に携わる人々に安定した生活を提供することは重要で、適切な農業政策を策定し、計画を実施する能力のある人材を育成することは、緊急の課題でした。

事業の内容

2010年の調査に基づき、JICAは、(1)チェンジマネジメント、(2)水資源開発・管理、(3)農業生産性の向上、(4)営農の多様化、付加価値型農業の推進を農業農村開発における重点協力分野としました。本調査では、上記(1)のチェンジマネジメントとして、農業灌漑牧畜省の組織強化のあり方を提案するための現状分析に資する基礎情報収集、並びに今後の日本の支援による協力プログラム等の形成支援のために、「灌漑」、「農業研究」、「農業普及」の分野から提案を行いました。具体的な業務内容としては、灌漑分野では、新設された灌漑局の位置づけを検討し、その能力強化のための支援策を提案しました。農業研究分野では、研究局の周辺環境を整理・分析し、農業研究のあり方、農業試験場の強化支援策等を提案しました。農業普及分野では、普及局を取りまく状況や組織体制を分析し、体制のあり方や、普及員の能力強化策などについて提案しました。これらの提案の一部は、その後の農業灌漑牧畜省への支援策に取り入れられました。



©The World Factbook



夕暮れ時の農業用灌漑水路



カブール近郊の農村風景